

令和7年度 海外帰国生徒の特別入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 市6

柏市立柏高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	3教科（国語・数学・英語）の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた以下の検査の結果
① 面接	受検者1名・評価者3名の個人面接 日本語（必要に応じて英語） 検査時間：1名10分
② 作文	字数：500字以上600字以内（日本語による）検査時間：50分
(4) 海外在住状況説明書	実施要項（様式6）により、海外在住期間及びその前後の教育歴を説明したもの

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [300点満点]

評価項目	評価基準
3教科の得点合計	3教科（各教科100点満点）の合計300点満点で評価する。

(2) 調査書 [155点満点]

アの数値にエ及びオについて加点（上限20点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	「各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値」で評価する。
イ 出欠の記録	3年間の欠席日数の合計が30日以上の場合、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数が1個以下の場合、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録	学級活動、生徒会活動、学校行事、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 部活動の記録 特記事項	部活動、資格・特技で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。

(3) 学校設定検査 [90点満点]

① 面接 [60点満点]

3名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(やや優れている)・c(標準的である)・d(標準に達していない)の4段階で評価する。aを10点、bを8点、cを5点、dを2点とし、3名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機 高校生活への意欲	志望の動機が明確である。 高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
イ 質問に対する応答 身だしなみ・態度	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 基本的な面接作法が身に付いている。

② 作文〔30点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(やや優れている)・c(標準的である)・d(標準に達していない)の4段階で評価する。aを5点、bを3点、cを2点、dを1点とし、2名の評価者の評価(各15点満点)を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
ア 字数・全体構成	指定された字数に対して過不足が無い。 全体としてのまとまりがある。
イ 文章表現	誤字や脱字がない。文法が正しく用いられている。
ウ 内容	与えられたテーマに対して内容が適切である。

(4) 海外在住状況説明書

評価項目	評価基準
記載内容	応募資格があることを確認する。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

中学校の校長から送付された調査書、海外在住状況証明書等の書類の審査並びに学力検査の成績、面接及び作文の結果を資料とし、総合的に判定して選抜を行う。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

4 その他

過年度卒業者については学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。